

表紙のことは

さとみ「かわいいプリムラ」



私は絵を描くことと花が大好きです。絵を描くことを仕事にしようと必死な毎日を送ってきました。しかし頸椎損傷により両手に麻痺、当初は自分の顔が痒くてもかくことすらできませんでした。そこから OT さんの力添えで、食事を自分でとれるところまで回復。3つ目の病院では、手の指先は動かなくとも「それだけ腕が動かせるなら」と、次々と生活で使う小物に工夫加えてもらい、自分でできることを増やして、自信をも回復させてくれたベテラン女性 OT、「レッツトライです！」が口癖だったレットラさん。この方がリハビリと日常生活をつなげてくれた。そして、ついに再び絵を描くことが！ この表紙募集への応募の目標をいただき、家族の協力もあり作品をつくり上げることができました。今まで私にかかわって下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



私どもの施設では、「その人らしい生活の実現」を目指し、リハビリとして小集団活動を行っています。

2010年から始まったこのペーパーモザイクの活動は、メンバーは変わっても、毎年1作品ずつ、利用者様の手によって完成されています。

この作品は、フロアの垣根を越え集まった約9名の利用者様たちによって制作されました。ペーパーを巻く人、巻かれたパーツを貼る人、それぞれがそれぞれの役割を果たし、全員で一つの作品をつくり上げました。共にいることで得る安心感・楽しみ・達成感等、いろいろな思いがたくさん詰まった作品です。

小集団活動 ゆりの会「野菜のかごもり」